

事故分析WGについて

1. 設置趣旨

事故分析に基づき、交通事故の防止、事故数減少に資する自動車安全技術の開発支援、普及活動について検討する。

2. 構成員

◆ 民間企業

アイシン精機(株)、(株)アドヴィックス、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)、三菱自動車工業(株)

◆ 行政

愛知県産業振興課、愛知県警交通総務課

3. 検討事項

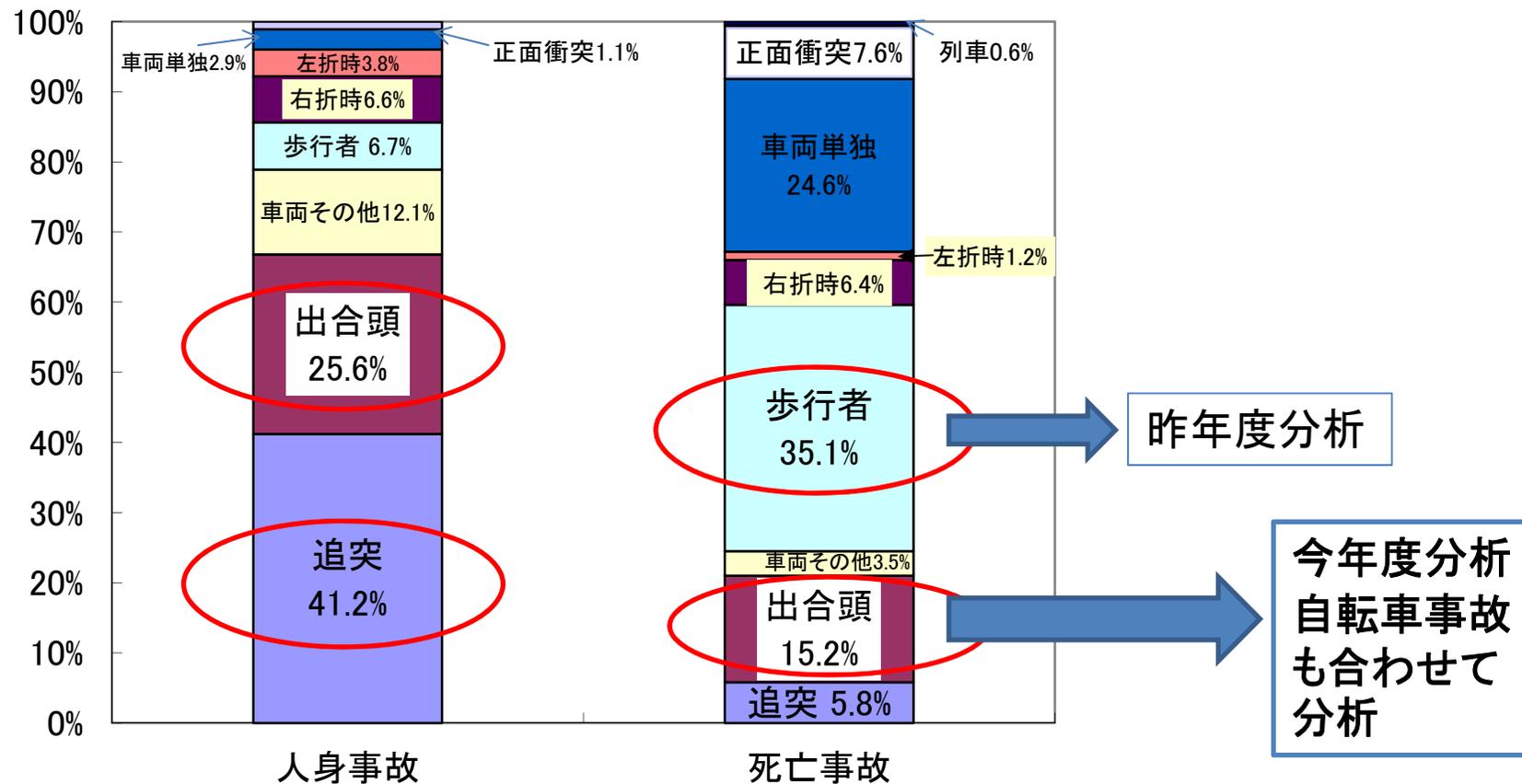
- (1) 交通事故状況の多角的な分析、調査
- (2) 事故分析に基づく、開発支援、普及が必要な自動車安全技術の検討
- (3) 事故分析に基づく、交通安全対策の検討
- (4) その他WGの活動に資すること

事故分析WGについて

4. 本県の交通事故死傷者数の軽減に向けた課題

第3回PT会議（H26.3月）において、課題の提示

平成25年 人身事故、死亡事故の事故類型別割合

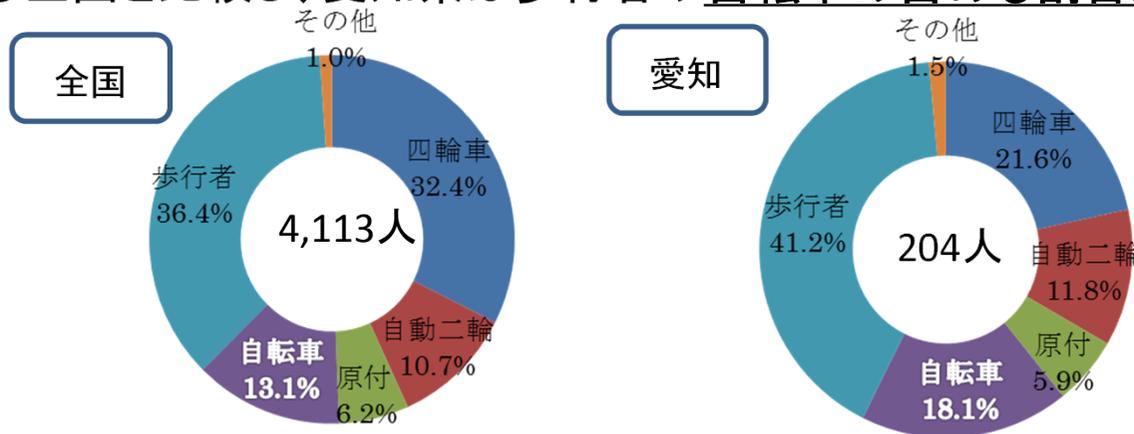


出合頭、自転車死亡事故の分析 資料 1

1. 全国と本県の出合頭、自転車死亡事故の比較

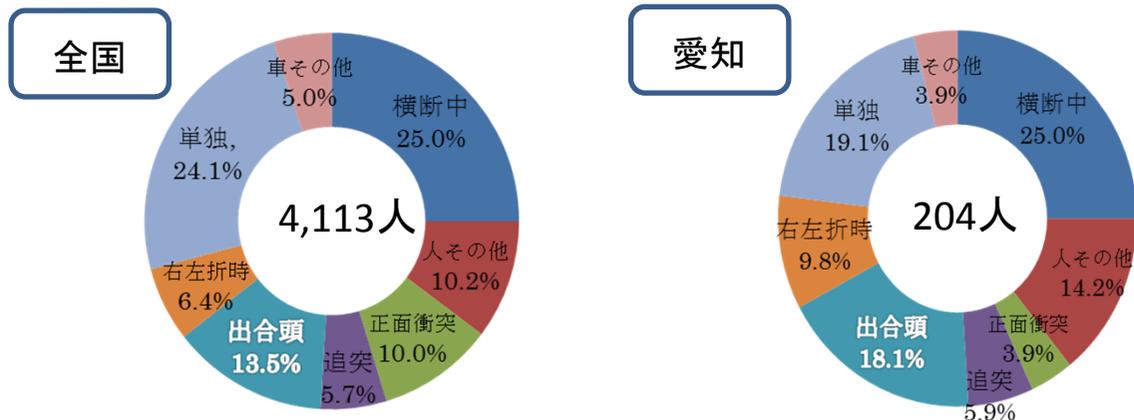
① 当事者別交通事故死者数(平成26年)

○全国と比較し、愛知県は歩行者や自転車の占める割合が高い



② 事故類型別交通事故死者数(平成26年)

○全国と比較し、愛知県は出合頭の占める割合が高い



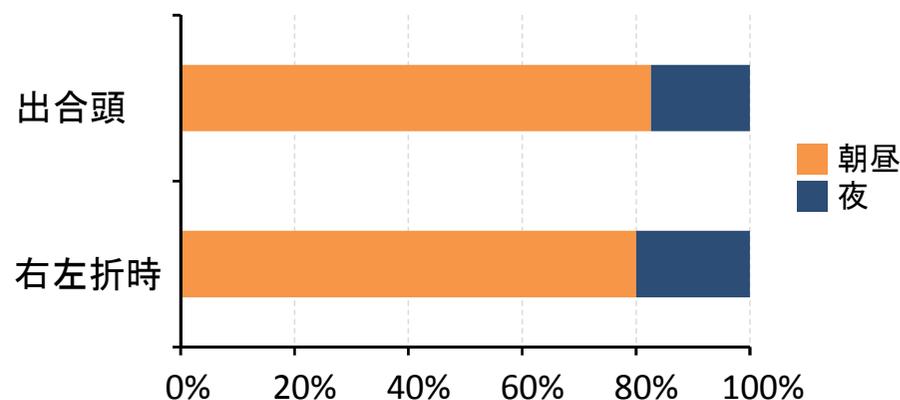
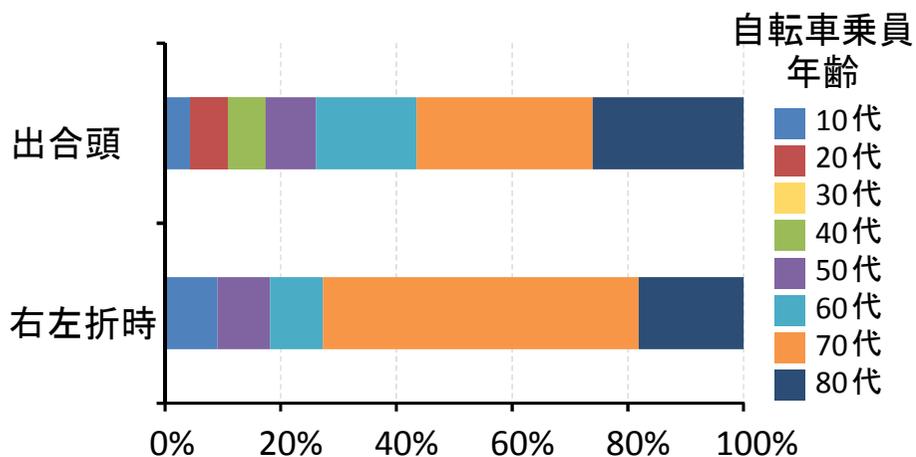
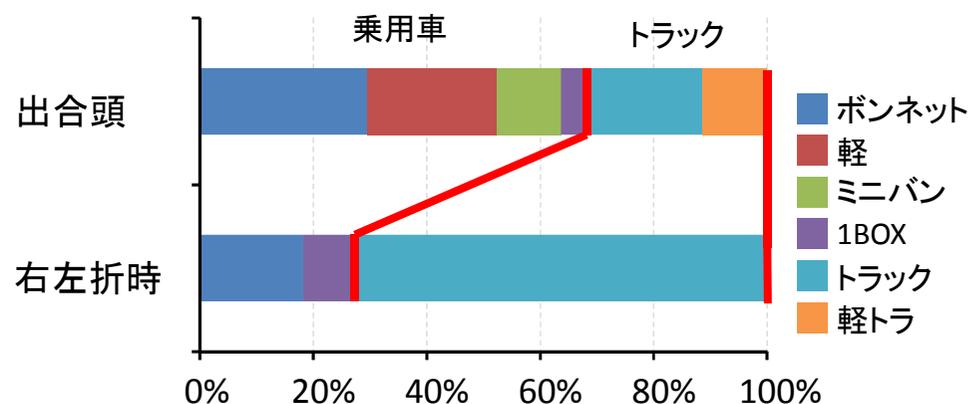
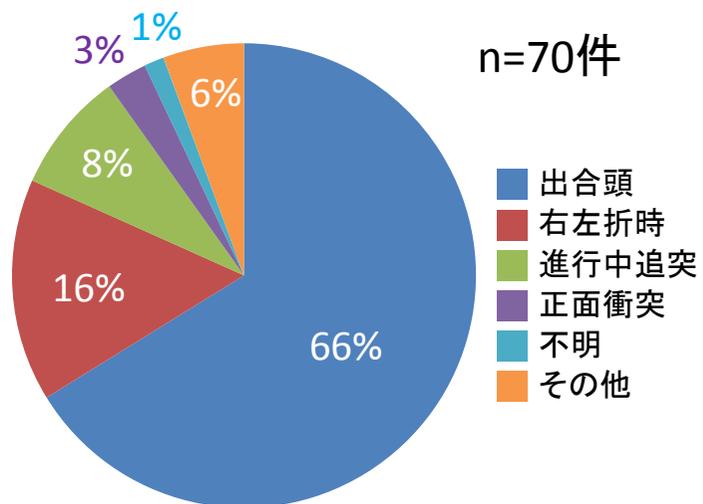
出合頭、自転車死亡事故の分析

2. 今年度の取組状況

- (1) 第1回会議を7月10日に開催。
- (2) 平成27年度の取組
 - ① 平成25～26年の「出合頭」、「自転車」の死亡事故についてカルテ(事故の詳細)を作成。
 - ② 「自転車」死亡事故のカルテについて、名古屋大学 水野教授において分析。
 - ③ 「自転車」死亡事故について、県と全国のマクロデータを比較。

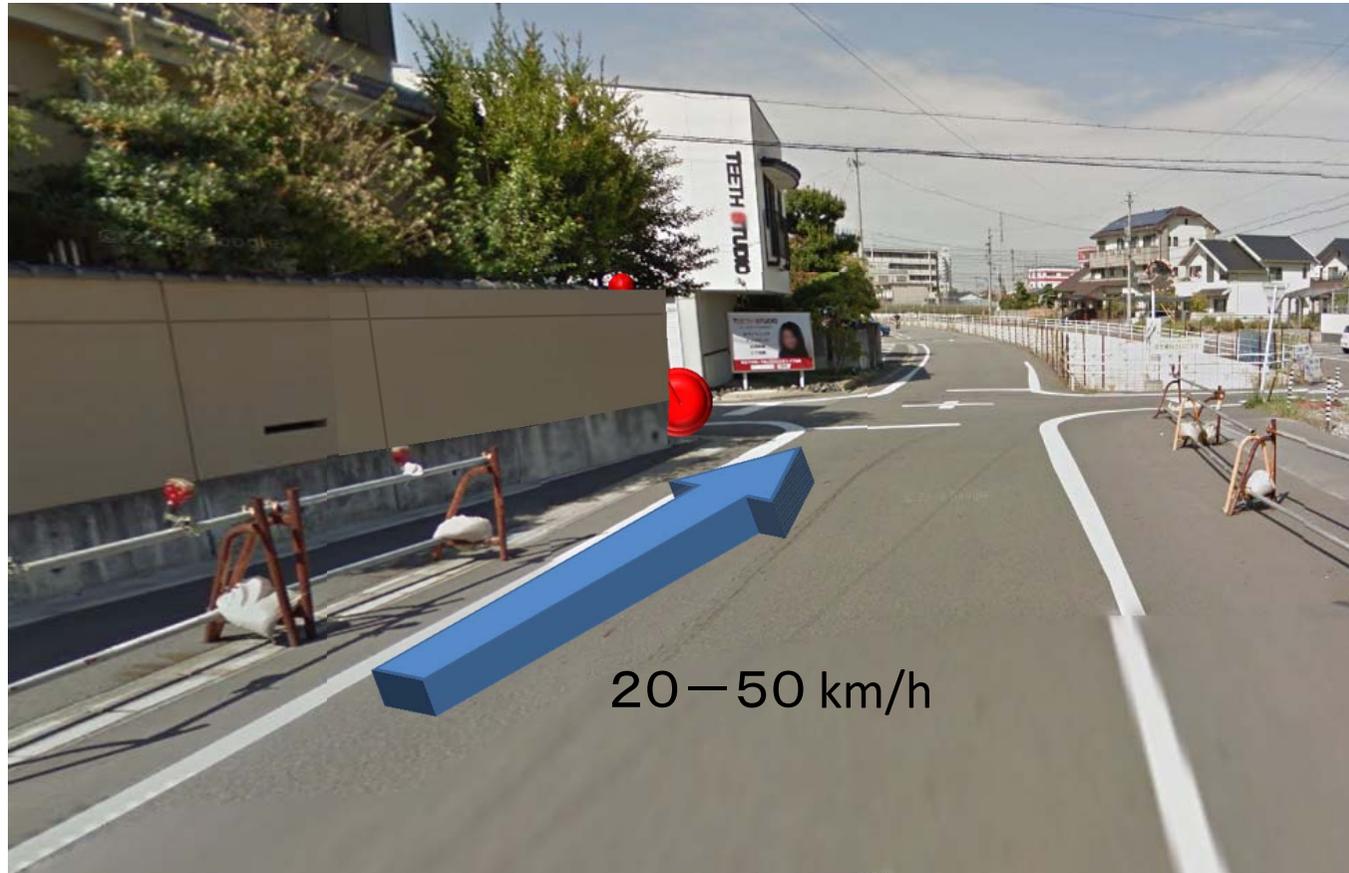
自転車事故の分析(1)

事故形態(自動車側からみた)



自転車事故の分析(2)

自転車の出合頭事故の典型例



- 自転車が狭い道から交差点に侵入する一時停止違反, 優先通行妨害が多い
→ 上記のケースに対応可能な技術開発が望まれる

自転車事故の分析(3)

愛知県の自転車死亡事故 まとめ

- 自転車事故
 - － 出合頭が多い.
 - － 自転車乗員は60～80代が多い
- 出合頭事故の特徴
 - － 見通しの悪い交差点で起きる場合が多い.
 - － 自転車が狭い道路から交差点に、一時不停止で進入する場合が多い
 - － 自動車の危険認知速度は 20～50 km/h
- 右左折事故の特徴
 - － 自動車運転者による自転車の横断妨害が多い
 - － 自動車の危険認知速度は10～30 km/h
 - － トラックが多い

